

～父とは違う若い視点で有機に取り組む未来のリーダー～  
片山 無 さん（西予市明浜町）  
奈津子 さん

かんきつ農家（無茶々園 組合員）1979年生まれ  
無茶々園ホームページ <http://www.muchachaen.jp/>



☆経営概況☆

有機農業によるかんきつ栽培やジュース加工などの6次産業化に取り組む「無茶々園」の創始者片山元治の長男で、新潟から1ターンで就農していた妻と共にかんきつ2ha（温州みかん1ha、ポンカン等1ha）の生産に取り組んでいます。

☆ここがポイント☆

■親の代から40年、無農薬・無化学肥料でみかんをつくっています！

環境を壊すことなく健康で安全な食べ物を生産していきたいという想いで、農薬や化学肥料に頼らないでみかん作りをしています。これが「無茶々園」のスタートであり、基本となる考え方です。除草剤は一切使用せず、全て人の手で行い、化学肥料も使用せず有機物で育てています。

■30名あまりの無茶々園のスタッフの半数が県外出身です！

新規農業者育成組織「てんほしゆくファーマーズユニオン天歩塾」を組織し、寝食完備の研修棟も整備し、長期・短期の研修生を国内外から受け入れています。地域の雰囲気との相性を感じ取ることは、田舎で暮らしていくためにはとても大切で、結果、地域へ多くの方が定着しています。

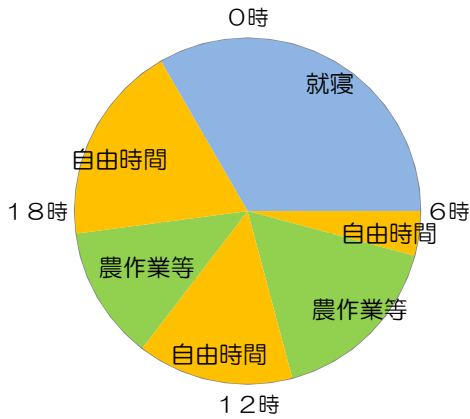


おいしく実ったデコポン収穫



収穫したみかんの運搬作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

夏場も冬場も本当の超繁忙期を除けば、自由時間は多い生活だと思います。夏：雨期を中心に長期に休みを取り、他農家の手伝いや妻の実家に里帰り、旅行等に出かけます。冬：クリスマス・年末年始もあまり休まず、寒さと戦いながら収穫します。

自由時間は、趣味の日曜大工・ボードゲーム・飲み会など気兼ねなく時間をさいています。勉強会と称して、先輩農家さんのお家に伺い、一杯ごちそうになることも。地域に密着して生活しているので、集落活動などで忙しくなることもあります。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日	
【繁忙期】		天候や出荷日を応じて不定期に休み 収穫・出荷					
【普通期】	平日雨で休む時は代わりに日曜日に働きます 栽培管理					休日	



今年も一年がんばるぞ



カカオ豆から作ったチョコづくりに挑戦中

☆これからの夢や目指すもの☆

■農家民宿をして無茶々園のファンを増やしたい！

農家民宿をして消費者の方々と繋がりを深め、「無茶々園」のファンを増やし、明浜の素晴らしいところを感じてもらえることが、どんな宣伝よりも効果絶大です。1日泊まれば1年、1週間滞在すれば、ずっとみかんを買ってくれるようになると思っています。

☆メッセージ☆

■中途半端に都会で就職するより地方で農業するほうが実際楽しいですよ！

そもそも、都会での仕事は自分自身大変でした。今はネット通販もあり、必要なものはどこでも手に入る。また、農業も機械化され、昔よりはるかに労働軽減されています。

田舎での農業は通勤はないし、時間も融通がきき、自分の時間を持てる、夢のある職業だと思います。都会で働くよりは、農業はいい職業だと自分自身が示したいと思っています。